

品第 1 号

令和 5 年度

消防ポンプ自動車（C D－I 型）仕様書

見 附 市

第1 総則

1 目的

この仕様書は、見附市が、令和5年度に購入する消防ポンプ自動車（CD-I型、以下「車両」という。）の仕様について必要な事項について定める。

2 適合法令等

車両は、全て新規製品とし、次に掲げる法令等に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。

- (1) 道路運送車両法（昭和26年法律第185号）
- (2) 道路交通法（昭和35年法律第105号）
- (3) 道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省第67号）
- (4) 動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）
- (5) 緊急消防援助隊整備費補助金交付要綱（平成18年消防第49号）
- (6) 消防車両の安全基準について（平成19年3月日本消防検定協会）
- (7) その他の関係法令等

3 車両概要

車両は、低床型のダブルキャブオーバー四輪駆動3トン車級消防専用シャシ（寒冷地仕様）に、消防ポンプ装置（消防検定A-2級）、水槽（600リットル以上）、ホースカー及び消防活動上必要な資機材を装備し、迅速確実な消防活動を行うことのできるものとする。

4 製作上の問題処理等

- (1) 車両の保管責任は、見附市の完成検査を受けるまでの間、受注者が負うものとする。
- (2) 仕様内容に疑義が生じた場合又は技術上の理由で仕様の変更が必要な場合は、見附市とその都度速やかに協議し、指示又は承認を受け、確認の図書をかわすこと。また、その際にかかる費用は受注者の負担とする。
- (3) 仕様内容の解釈については、見附市の解釈に従うものとする。
- (4) 車両製作にあたり、シャシメーカーと緊密な連絡を保ち、誠意を持って行うこと。
- (5) 車両製作にあたり、工業所有権に関する法令及びその他の法令等に抵触することのないよう必要な処置を講ずること。また、それらの運用、適用にかかる費用は受注者の負担とし、問題が生じた場合は、受注者において問題を解決し、その旨見附市に報告すること。

5 製作上の注意

車体は、緊急出動、消火作業等消防活動に適した構造及び機能を有するもので、次のとおりとする。

- (1) 標準装備以外の各装置及び部品の取り付けは、ボルト締めを原則とし、ボルト等は、ネジロック剤を使用して確実に締め付けること。また、ボルト貫通部が隊員に接触する恐れがある場合は、袋ナット等で安全な処置を講ずること。
- (2) 車体全般にわたり、防水措置及び防食措置並びに防錆措置を十分に行うこと。特に下廻りの部材の継ぎ目は、全てコーキングを施すこと。

- (3) 使用取り扱い上の安全性及び操作性を十分考慮すること。
- (4) 車体全体の重量軽減を図り、前後左右の荷重バランスを十分考慮すること。
- (5) 装備品は機能的で、かつ、体裁よく配置すること。
- (6) 堅牢にして長期の使用に耐え得るものであり、かつ、維持管理が経済的に行えること。
- (7) 水洗浄ができ、かつ、残水等が生じない構造とすること。また、車体等で器具等の使用時に、接触等によるキズや塗装剥離の恐れがある部分には、適切な保護対策を講ずること。
- (8) 車体本体、艀装材料、装備品、取り付け品、取り付け装置及び積載品等は、全て最新型で新規製品とすること。また、同等品以上の性能を有する物品等を主張する場合は、入札前に性能に関する資料を提出し見附市消防本部警防課警防係（以下「担当者」という。）の承認を得ること。
- (9) 電気照明類、灯火類等は全てLEDとすること。
- (10) スイッチ類はバックライトを内蔵し、夜間でも見え易い構造とすること。

6 無線機及びAVM装置の取り付け

無線機及びAVM装置の取り付けは、見附市消防本部のデジタル無線設備工事施行業者が行う。

- (1) 実施業者は次のとおりとする。
住所：新潟県長岡市下々条三丁目1438番地3
名称：藤島無線工業株式会社
- (2) 備品及び取り付け費用は契約金額に含むものとする。
- (3) 無線機一式及びAVM装置一式は、現有車両から取り外し、取り付けるもの。
なお、部品が不足する場合は調達するもの。

7 登録手続き

車両の新規登録（車庫証明及び緊急自動車登録を含む）は、受注者が納入前に完了するものとし、登録に要する費用はすべて受注者の負担とする。ただし、自動車重量税及び自動車損害賠償保険料並びに自動車リサイクル料については、見附市が負担する。

8 検査

各検査には、必ず検査員が立ち会い、見附市からの指示事項、確認事項は書面を取り交わすこと。

- (1) 中間検査
塗装前に、主要部の艀装を終了した時点で受注者は、資料等の提出による書類審査及び、見附市が適当と判断する時期に受注者製作工場での確認及び検査を受けるもの。また、見附市からの軽微な変更要請があった場合は、受注者はこれに応じること。
- (2) 完成検査
新規登録後に、見附市が指定する日時及び場所ですべての検査を受けるもの。その結果、不備事項及び不合格と認めた場合は、見附市が指示する日までに改修及び取り換え等を行ない、再度検査を受けるもの。なお、その場合に要する費用は受注者の負担とする。

(3) その他の検査

見附市が必要と認めた場合は、協議のうえ検査を受けるもの。

9 保証期間

車両の保証期間は、検収日から起算し2年間（塗装、メッキ部は3年）とし、保証書を提出する他、次のとおりとする。

- (1) 設計不良、工作不良及び材質不良等に起因する故障、不具合等の場合は、保証期間経過後においても受注者が無償で修理又は取り替え等を施すものとする。
- (2) 取り付け品及び積載品等について、個々に各メーカーが定めた期間が2年以上の場合は、その定めた期間とする。
- (3) 最初の6ヶ月法定点検は受注者が無償で行うこととし、各部油脂類の交換、給油を実施すること。
- (4) 保証期間終了前に専門技術員を派遣し、車体及び艀装部の定期保守点検を受注者が無償で行うこと。

10 納入

- (1) 新潟運輸局長岡陸運支局の新規登録を受けた後、必要書類を添えて各部の点検整備を実施のうえ、車両の燃料並びに積載品等の燃料を満量とする。
- (2) 納入場所は、見附市昭和町2丁目6番33号、見附市消防本部とする。
- (3) 納入期限は、令和6年3月31日（日）とする。

11 取り扱い説明

受注者は、車両納入後、見附市の指定する日程及び期間において専門員を派遣し、取り扱い説明を2回行なうこと。その際にかかる費用は受注者の負担とする。

12 その他

- (1) 車両ナンバーは「・・・1」とする。
- (2) 製造過程及び納入時等において、万一事故が発生した場合は、速やかに見附市に連絡するとともに、その事故等について受注者が一切の責任を負うこと。
- (3) その他の経費が発生した場合は、受注者がすべて負担するもの。なお、疑義が生じた場合は、見附市に速やかに連絡し承認又は指示を受けること。
- (4) 契約金額は、入札書に記載された金額に、消費税相当額、自賠責保険料及び自動車重量税等の課税対象外の金額を合わせた金額とする。

第2 提出書類

1 承認図書

受注者は、契約後速やかに見附市と細部にわたり十分な打ち合わせを行うものとし、打ち合わせ後、次の図書（A4版製本）を速やかに3部（1部返却）提出し、承認を受けること。

- (1) 製作工程表
- (2) シヤシ関係図書
 - ア シヤシ3面図
 - イ キャブ改造図
 - ウ 諸元明細書

(3) 艀装関係図書

- ア 車体骨組図
- イ 車内レイアウト図
- ウ 資機材収納ボックス製作図
- エ 装備品取り付け図
- オ 水槽関係図
- カ ポンプ関係図
- キ 真空ポンプ関係図
- ク 動力伝達装置関係図
- ケ 配管図及び配管系統図
- コ 電気系統配線図
- サ 梯子昇降装置関係図書
- シ ホースカー昇降装置関係図書
- ス 照明装置関係図
- セ 使用資機材明細一覧表（メーカー名及び型式）
- ソ その他見附市が指示するもの

2 着手届

承認図書の承認を受けた後、着手届を1部提出し、着工すること。

3 進捗状況の報告

中間検査前及び見附市が適当と判断する時期に、製作工程ごとの進捗状況を示す書類及び写真等を提出すること。

4 完成図書

納入前に次に掲げる図書（A4版製本）を2部提出すること。

- (1) 艀装関係完成図
- (2) 改造自動車等審査結果通知書の写し
- (3) 緊急自動車届出確認証の写し
- (4) 自動車車検証の写し
- (5) シャン取り扱い説明書
- (6) 受託試験合格及び安全基準適合プレートの写し
- (7) 消防ポンプ（真空ポンプ）試験成績書
- (8) ポンプ取り扱い説明書及び整備要領書
- (9) 装備品等取り扱い説明書並びに保証書
- (10) 主要資機材取り扱い説明書並びに保証書
- (11) 使用電球一覧表
- (12) 使用ヒューズ一覧表
- (13) 納品書及び納品明細書
- (14) その他見附市が指示するもの

5 写真等

次に掲げる写真（カラーEサイズ・A4版ファイルで製本）を、完成図書と併せて1部提出すること。また、写真データを保存したCD1枚を添付すること。

- (1) 完成写真（新規登録後でナンバー付き、前後左右、斜め前後左右及び上部）
- (2) 製作工程に基づくシャシから完成車までの状況を撮影したもの
- (3) 塗装状況が確認できるもの（工程ごと）
- (4) 付属品を撮影したもの
- (5) その他見附市が指示するもの

第3 仕様

1 シヤシ

(1) 規格

ア 車両のシャシは、消防専用シャシ 3 トン車級低床四輪駆動（ＡＢＳ装置付き）で、最新年度に製造されたもの。

イ 日本消防検定協会の検定（消防受託試験）に合格したもの。

ウ 平成28年度排出ガス規制に適合し、平成27年度重量車燃費基準達成車とする。

エ この仕様において指定した以外の装備品については、消防用シャシとしてメーカーが公表した標準取り付け品が装備されていること。

(2) シャシの主要諸元

ア 消防車専用シャシ

イ 形状 キャブオーバー型ダブルシート

ウ 乗車人員 5 名

エ ホイールベース 2, 800ミリメートル程度

オ エンジン 水冷4サイクルディーゼルエンジン

力 変速装置 マニュアルトランスミッション

キ ステアリング パワーステアリング

ク 総排気量 4, 000 c c 以上

ケ 駆動方式 4 輪駆動

コ バッテリー AVM装置及び無線機等に必要な電気容量を十分に確保できるものとする。また、点検等が容易に行えるよう引き出し式とする。

サ オルタネーター 24V-80A以上とし、必要な電気容量を十分に補えるものとする。配備後（運用開始後）、使用に不都合が生じた場合は無償で耐え得るものと交換すること。

シ 燃料タンク 60リットル以上

ス 寒冷地仕様

(3) 主な装備品及び取り付け品（灯火類は全てＬＥＤ）

ア 消防ポンプ装置 A-2級以上

イ 水槽 600リットル以上

ウ 梯子手動昇降装置

エ ホースカー自動昇降装置

才 照明装置

力 エンジン回転計

キ エンジン油温計

ク 後退警報機 (ON・OFF切り替えスイッチ付き)

- ケ キャブチルト装置（電動式）
- コ フルパワー P T O
- サ マグネット式オイルパンヒーター（ずぼら充電器防水型 1 0 メートルコード付き）
- シ 全席集中ドアロック
- ス 全扉パワーウインド
- セ フォグランプ
- ソ ディスチャージヘッドランプ
- タ エアコン
- チ リア空調吹き出し口（冷房・ヒーター）
- ツ 電動パワーミラー
- テ 室内蛍光灯
- ト 大型デジタル時計
- ナ カーナビゲーションシステム（国産メーカー・地デジ対応・S Dカード等によるデータ更新方式）
- ニ バックアイカメラ（ドライブレコーダーモニタ連動）
- ヌ ドライブレコーダー（国産メーカー・バックアイカメラ連動モニタ付き・S Dカード等による常時録画方式）
- ネ コーナーセンサー（車両後部上下左右 4 カ所）
- ノ サンバイザー（前席）
- ハ サイドバイザー（大型アクリル製・前後席）
- ヒ メッキフロントグリル
- フ ドアリフレクター（赤反射シート・ドア 4 枚分）
- ヘ 泥よけゴム（全輪）
- ホ フロアマット（前後席）
- マ ナンバー枠
- ミ 超防汚シートカバー（全席）
- ム 坂道補助発進装置
- メ タイヤはブリヂストン製スタッドレスタイヤ（アルミホイール付）とし、ノーマルタイヤは不要とする。
- モ 機能上必要な物
- ヤ その他メーカー標準装備品及び取り付け品
- (4) 付属品
 - ア 発煙筒
 - イ 標準付属品・機械用工具セット
- (5) 完成車の寸法及び重量

ア 全長	6, 1 0 0 ミリメートル以下
イ 全幅	2, 1 0 0 ミリメートル以下
ウ 全高	3, 3 0 0 ミリメートル以下（無線アンテナ含む）
エ 車両総重量	7, 0 0 0 キログラム程度

第4 艀装

1 材料等

- (1) 骨組等主要構造は、アルミ、一般構造用圧延鋼材（S S 4 0 0）、又は同等以上の強度を有する材料を使用すること。
- (2) 車体上部、フロアステップ、バンパー上部、サイドエプロン、その他必要とする部分はアルミ縞板とすること。
- (3) 保護枠、計器盤、蝶番、手摺り棒等その他金属の露出部分は及び外部に取り付けるボルト、ナット類は、全てステンレス製のものを使用すること。
- (4) コーキング類は、弾力性があり永年使用により硬化及び劣化しないものを使用すること。
- (5) プラスチック類は、すべて難燃性及び耐油性、更に耐寒性に優れたものを使用すること。
- (6) ゴム製品は、全て耐油性、耐老化性、耐熱性、耐寒性に優れた合成ゴムを使用すること。
- (7) 電気系統の配線は、十分な電流容量を有するもので、かつ、耐候性に優れたものを使用すること。

2 キャブ

(1) キャブの外部

ア キャブは、エンジンの点検等を容易に行えるため電動キャブチルト装置付きとし、落下防止用の支え棒等を取り付けること。（三連梯子等がキャブ屋根上に張り出している場合にはキャブチルト操作が行えない安全装置を設けること。また、エンジンルーム点検灯を設けること。）

イ キャブはハイルーフ型で、材質はF R Pとし、軽量化を図り低重心化すること。（詳細は別途協議）

ウ キャブ上部に、キャブ一体型の高輝度赤色警光灯を取り付け、アクティブ制御スピーカー50ワット2個とモーターサイレン1個をキャブ一体型（防雪カバー付き）でキャブ内の静粛性を配慮する方法で収納すること。（アクティブ制御スピーカーに代えて同性能のスピーカーを取り付ける場合、車内への音量を減衰する艀装を施すこと。詳細は別途協議）

エ キャブルーフ一体型の標識灯を取り付けること。

オ 消防章をフロント部に台座を設けて取り付けること。

カ ナンバープレートには、ステンレス製の保護枠を設けること。

キ 車輪止めは、右後部ドア下ステップ付近に収納すること。

ク オイルパンヒーターコンセントは、キャブ右側外部に取り付け、カットスイッチを運転席付近に設けること。また、バッテリー管理器を取り付け兼用とすること。なお、配線及び結線部は露出しないようにし、漏電及び防水対策を十分にとること。（詳細は別途協議）

ケ バッテリーは、キャブ左側下部にシャシフレームより補強したレール付き収納装置とし、雨、雪等が入らない構造とすること。また、容易に点検ができ、かつ、固定及び解除ができるロック装置を取り付け、乗降に支障とならないようにすること。

コ フロントバンパー上部は全てアルミ縞板張りとする事とし、フロントバンパー幅は100ミリ前に出し、フロントバンパーサイドを延長すること。

また、フロントガラス上部にアシストグリップ2個を設けること。

サ 各ドアには、ドア連動の足元灯を設けること。

シ 各ドアの昇降口フェンダーに、外板損傷防止用アルミ製保護板を取り付けること。

ス 左右サイドミラーに、くもり止めヒーターを取り付けること。

(2) キャブの内部

ア 座席は前席2名、後席3名が安全に乗車できるものとし、各座席にはシートベルトを設けること。

イ 全席に超防汚シートカバーを設けること。

ウ キャブ内前席の天井部は、オーバーヘッドコンソールとし、前席後席の天井中央部及び後席張り出し加工部分の上部、更に後席一席分に、着座時、立位時のいずれにおいても支障のない収納棚を設けること。(詳細は別途協議)

エ 各装置の電装品スイッチは、オーバーヘッドコンソール及び前席中央付近のセンターコンソールボックスに体裁よく操作が容易に行えるよう設置すること。(詳細は別途協議)

オ 乗員席への昇降部には、安全に昇降するためのステップ及び手摺りを設けること。

カ 後席前方にステンレス製の手摺りを設け、脱着式のS字フック(ビニールコーティング)を6個以上取り付けること。(詳細は別途協議)

キ 後席手摺りの中央付近に、地図(A3サイズ)等を収納するボックスを1個取り付け、左右にパンチングメタルを取付けること。(詳細は別途協議)

ク 後席背面に空気呼吸器固定装置(幅広マジックバンド式)3基を取り付けること。また、付近に面体及び防火衣を掛けるフックを其々取り付けること。(詳細は別途協議)

ケ 後席下部には、可能な限り資機材が収納できるボックスを設け、床にスノコ板(プラスチック製)を設けること。(詳細は別途協議)

コ 後席上部前方にパンチングメタル棚、後方はアルミ棚を設け、ネット等で収納物の落下防止措置を講じること。(詳細は別途協議)

サ キャブ内バックミラーを改造し、常時後方を監視するモニタ(エンジンON/OFF連動・ドライブレコーダー内臓・モニタ8インチ以上)を取り付けること。(詳細は別途協議)

シ キャブ内に、車両の電源から100ボルト交流電源が使用できる2口コンセントを設け、インバーター等の機器の周囲は、放熱を考慮したカバーを取り付けること。(詳細は別途協議)

ス キャブ内の前後天井2ヶ所に、角型の室内灯を取り付けることとし、スイッチは3段切り替え(ON/OFF・ドア連動)とする。

セ 前席上部に、大型デジタル時計を取り付けること。(詳細は別途協議)

ソ 各装置のヒューズは、専用ボックス(収納場所)を設け、ヒューズごとに銘板を取り付けること。

タ 無線機及びAVM装置は当本部の指定する業者が取り付けるため、装置本体及びアンテナ取り付け位置等について、担当者及び指定業者と協議すること。また、その結果を当本部に報告し承認を得ること。

チ 冷暖房装置は、車両メーカーの純正品とすること。

ツ シャッター開閉状況や各装置作動状況など表示する、警告表示モニタ、または、10連スイッチ（以下「警告表示モニタ等」という。）を、キャブ内前席オーバーヘッドコンソールボックスに体裁よく操作が容易に行えるよう設置すること。（詳細は別途協議）

テ 助手席側にLEDマップランプを1個設けること。

3 車体等の構造

- (1) 艀装は、総合的な重量軽減を図り、車両重量のバランスを考慮して製作すること。
- (2) 車体の重要な点検箇所及び主要な部分には、点検整備に必要なスペースを確保するとともに、必要箇所には点検口又は点検扉を設けること。
- (3) 側板等は、防錆性が高く、かつ腐食を防止できる素材を使用し、強度、軽量化を両立させるものとし、各ステップはアルミ縞板にて端部周辺を折り曲げ加工及び滑り止め加工をすること。
- (4) 形状は箱型とし両側上部を立ち上げ、キャブルーフ高と体裁よくすること。さらに、左右及び後面をシャッター方式とし（枚数は別途協議）、その構造は次のとおりとする。
 - ア アルミ合金製ローラー方式で、耐久性、防水性、防振性に優れ、開閉が任意に位置において停止できる構造とすること。
 - イ シャッターの取り付けは、走行の振動で歪んだり、ガタついたりしないように確実にを行い、機械的構造部分は全てメンテナンスフリーとすること。
 - ウ シャッター閉め忘れ防止の警告灯を警告表示モニタ等に表示させること。
 - エ シャッターは、容易に開閉ができるようにすること。
- (5) 上部は、雨水等が滞留及び車体内部へ浸入しない構造のアルミ縞鋼板張りとし、側面上部は、キャブ高と同等な高さに合わせ面取り加工し、内側をアルミ縞板張りとし、外側には赤色点滅灯と作業灯を埋め込み式で取り付けること。（詳細は別途協議）
- (6) 昇降口及び後部の必要な場所にステップ等を設け、立ち上がり部分はアルミ縞板張りとし、各ステップの周囲及び安全管理上必要な箇所に手摺り、足掛かり、握り棒等を設けること。
- (7) 左右シャッター下部に、ステップ兼用扉（チェーンレス）付き収納ボックスを設け（フェンダー部分は除く）、床にはスノコ板（プラスチック製）を取り付けること。また、扉の内面はアルミ縞板鋼板張りとし、縁には黄色の反射テープ等を張り、展開時の安全を図ること。更に、扉開放時は、警告表示モニタ等に点灯表示させること。（詳細は別途協議）
- (8) ステップ兼用扉は、フルフラットステップとし、各ステップ兼用扉外側には、門型の鍵（ステンレス製丸落とし）を設け、安全性を高めること。（詳細は別途協議）
- (9) 左右シャッター内は、3～4段程度の可動棚及び展開式のパネルを設けること。（詳細は別途協議）
- (10) 左右シャッター内に、アルミまたは、ステンレス製のパイプを通し、フックを取り付け、防火衣等を掛けられる構造とすること。（詳細は別途協議）

- (11) 後部シャッター内には、ホースカーと発電機を収納すること。（詳細は別途協議）
- (12) 収納棚等の内面は防錆、防水構造とし、床面には必要に応じて水抜き穴を設けること。また、積載資機材等の固定及び脱着が容易な固定装置（固定金具、ワシントンタッチ式ベルト、アルミボックス等）を設けること。（詳細は別途協議）
- (13) 後部右側に、滑り止め加工したアルミ製又はステンレス製引き出し式の昇降用はしごを取り付けること。（詳細は別途協議）
- (14) 上部に、アルミ製資機材収納ボックスを可能な限り大きく取り付け、床にはスノコ板（プラスチック製）を設けること。また、分離型吸管を収納するためのアルミ製ボックスも設けること。（詳細は別途協議）
- (15) 後部上に、バックアイカメラを取り付け、上部に保護カバーを設けること。
- (16) 各操作部（ハンドル、レバー、スイッチ等）には、名称及び操作方法を明記すること。
- (17) 坂道等が原因で、車体下部が擦れない構造とすること。（詳細は別途協議）
- (18) 各車輪後方には、ゴム製の泥除けカバーを取り付けること。
- (19) 前後下部に牽引用のフックを設けること。
- (20) 燃料タンクは、低重心化のため出来るだけ低く地上から給油可能な位置とし、車輪による跳ね上げ等により燃料タンクが直接損傷を受ける可能性がある場合は、保護板等を設けること。また、給油口は給油し易い場所に設け、給油口の直近に、燃料の種類と容量を記入すること。（詳細は別途協議）

4 車体取り付け装置等

別表1のとおりとし、同等品以上の性能を有する品を主張する場合は、入札前に性能に関する資料を提出し、見附市の承認を得ること。また、主な取り付け装置等は以下のとおりとする。

- (1) 積載梯子昇降装置（詳細は別途協議）
 - ア 三連梯子、一連梯子及び鳶口2本を積載する手動昇降装置を、車両上部に取り付けること。また、地上から操作できるよう引出回転式とし、車体に干渉しない構造とすること。（詳細は別途協議）
 - イ 走行時の振動、衝撃等に耐える堅固なものであること。また、積載時に伸長を防止する構造であること。
 - ウ 坂道等の傾斜地においても、積載梯子の積み降ろしが安全確実にできるものであること。
 - エ 梯子昇降装置未収納確認ランプを、警告表示モニタ等に点灯表示させること。
- (2) ホースカー及び積載装置（詳細は別途協議）
 - ア 車両後部のシャッター内に積載すること。
 - イ 走行時の振動、衝撃等に耐える堅固なものであること。
 - ウ ホースカーは、65ミリメートルホース8本以上を積載できる、電動アシスト付ホースカー（加納式）とし、二又分岐管、管鎗2本、媒介金具を取り付けること。また、取り付けた備品等は容易に回転したり向きが変わったりしないようにすること。（詳細は別途協議）
 - エ 一人で操作できる油圧昇降装置とすること。
 - オ ホースの積み降ろしが安全確実にできるものであること。

カ ホースカー未収納確認ランプを、昇降スイッチ付近に設けるとともに警告表示モニタ等に点灯表示させること。

キ 昇降スイッチ部は、保護カバー（ステンレス製プロテクター）を取り付けること。

ク 故障時においても、手動操作ができること。

ケ 積載品及び付属品は、別表２のとおりとし、安全確実に積載でき、容易にとりはずしができる堅固な装置等に備えること。また、同等以上の性能を有する品を主張する場合は、入札前に性能資料を提出し、担当者の承認を得るものとする。

コ 車両備品は、別表３のとおりとし、積載とあるものは安全確実に積載でき、容易に取り外しができる堅固な装置等に備えること。また、同等以上の性能を有する品を主張する場合は、入札前に性能資料を提出し、担当者の承認を得るものとする。

サ 別表４に掲げる旧車両から新規車両への載せ替え品については、積載場所を設け、安全確実に積載でき、容易に取り外しができる堅固な装置等に備えること。（詳細な積載場所については、別途協議とする。）

(3) 無線機及びA V M装置

車体両側のポンプ室付近に、無線機、A V Mスイッチ、及び外部スピーカーを設置すること。（詳細は別途協議）

5 電装関係

別表１のとおりとし、同等品以上の性能を有する品を主張する場合は、入札前に性能に関する資料を提出し、当本部の承認を得ること。また、以下によること。

- (1) キャブルーフは、高輝度赤色警光灯及び標識灯一体型（モーターサイレン内蔵）とすること。
- (2) キャブ室内を有効に照明できる室内灯（天井埋め込み型）を設け、ドアスイッチと切り替えスイッチの両方で使用できる構造とすること。
- (3) フロントバンパー内部に左右対称・二段の位置に赤色点滅灯を各４個取り付けること。（詳細は別途協議）
- (4) 車体両側上部立ち上げ面の左右対称の位置に、赤色点滅灯を各２個と作業灯各２個を取り付けること。（詳細は別途協議）
- (5) 車体後部面上部の左右対称の位置に、赤色点滅灯（ステンレス製プロテクター付き）各１個と作業灯各１個を取り付けること。
- (6) 路肩灯（L E D）は、左右後輪付近に取り付け、スモールランプと連動させること。
- (7) 各資機材収納ボックス内を有効に照明できる照明灯（ステンレス製プロテクター付き）を取り付け、メインスイッチを１０連スイッチに設けること。
- (8) 左右ポンプ操作部シャッター内に、計器や内部を有効に照明できる照明灯（ステンレス製プロテクター付き）を取り付け、メインスイッチを１０連スイッチに設けること。
- (9) 全ての照明灯は、配線やコード類は露出しないように隠蔽し、防水加工とし、資機材等を収納する際、接触する恐れのある箇所は保護カバーを付けること。

- (10) 車体右側に、手動伸縮式の照明装置（ＬＥＤ）を取り付けること。なお、手動により展開及び収納ができ、伸縮柱を上昇（３６０度照射できる高さ）及び下降させ、照明を上下左右に動かすことができること。（詳細は別途協議）
- (11) 電子サイレンアンプ
 - ア サイレン装置は、機能集中型操作スイッチを取り付けること。
 - イ 取り付け位置は、運転席と助手席の間のコンソールボックスに取り付けること。
 - ウ アンプは、５０ワット以上で電子サイレン・電子警鐘・拡声機能及び音声合成装置機能を持つものとする。
- (12) 電動モーターサイレン
 - ア 高輝度赤色警光灯及び標識灯一体型内臓とする。
 - イ スイッチは１０連スイッチに設けるほか、手動スイッチを単独で助手席付近に設けること。
- (13) マイクは助手席側に１個及び、後部座席付近に１個取り付けること。（詳細は別途協議）
- (14) １０連スイッチは、運転席と助手席の間のコンソールボックスまたは運転席上部の操作しやすい位置に取り付けること。（詳細は別途協議）
- (15) 車体両側上部立ち上げ面の左右対称の位置に各２個、車体後部面上部の左右対称の位置に各１個の照明器具を取り付け、スイッチは１０連スイッチに設けること。（詳細は別途協議）
- (16) 後退灯は、車体後部左右の支障とならない位置に取り付け、後退警報器（ＯＮ・ＯＦＦ切り替え式）と連動させること。
- (17) 各電装品の電気配線及びコネクタ等は、防水及び防錆性能を有するものを使用し、コネクタ等に雨水等が直接かからない措置を講ずること。
- (18) 各装置のスイッチは、１０連スイッチを設けて取り付け、体裁よく納めること。
- (19) 各装置のヒューズは、専用ボックスを設けて取り付け、ヒューズごとに銘板を取り付けること。

6 水ポンプ装置

- (1) 水ポンプ
 - ア 高圧二段バランスタービンポンプ又は、一段ボリュートポンプとすること。
 - イ 省令で定めるＡ－２級とする。
- (2) シャシエンジンのＰＴＯ（パワーテイクオフ）により駆動するもの。
- (3) 材質は、軽量化に努め、インペラーについては砂利等の混入にも対応できるよう強度、腐食性を考慮し青銅铸件とすること。
- (4) グランド部は、完全メンテナンスフリーのメカニカルシールとすること。
- (5) 先端部は、グリス補充不要な構造とすること。また、構造上グリス注入が必要な場合は別途協議するものとする。

7 ポンプ室の構造及びポンプ操作装置等

- (1) ポンプ室
 - 側板密閉型とし、装置の点検及び手入れが容易にできるよう、できる限り開閉可能な点検口を設けること。

(2) ポンプ操作装置

車体左右シャッター内に取り付け、機関員が容易にかつ安全にポンプ操作が行えるものとする。また、次の機能を有するものとする。

ア 圧力計、連成計（リタード式）は、電子式（透過光照明灯・ゲージ作動確認ランプ付き）とし、振動等でも針振れがない構造とすること。

イ ポンプスロットルは、電子式スロットルとし、左右どちらでも同方向に回転することによってエンジン回転速度を調節できるものとする。

ウ ポンプスロットルは、誤作動を防止するための安全ロック機能を設けること。

エ 多目的表示液晶ディスプレイは、操作盤の中央とし、仕様は各社の仕様とするが、事前に仕様内容について担当者に説明し、承認を得ること。

オ 各ポンプ、各配管、各作動ボタン及び各バルブ類全体を図示したフロート風のパネルにスイッチを組み込んだものとする。

カ 各パネルには、各ポンプの名称、各バルブの名称と開閉表示及び揚水完了の名称を表示すること。

キ 自動揚水作動スイッチ及び停止スイッチが付いていること。

ク 分解及び点検整備が容易にでき、かつ振動等により緩みが生じないようシャシフレームに確実に取り付けること。

ケ 自動調圧装置を、ポンプ操作装置内に設け、任意の設定圧力の微調整ができる構造とし、自動調圧機能の解除は、ワンタッチ又はスロットル操作等で自動的に解除される構造とすること。

コ 付属装置等は、点検、整備等が容易にでき、かつ振動等により緩みが生じないように確実に取り付けること。

サ 駆動は、シャシに付属するポンプミッションを介して行うこと。

シ 動力伝達は、スプラインシャフト及びユニバーサルジョイント等を使用して、車体のねじれ等に十分に耐え、かつ異常な騒音を発しない構造とすること。

ス 流量計は、各放口に 1 個、計 4 個取り付けること。

セ 積算流量計は、車体両側ポンプ操作部に各 1 個設けること。

ソ エンジンを冷却できる装置を取り付けること。

タ 不凍液注入装置は、不凍液が逆流しない構造とし、不凍液を容易に注入できる場所に設けること。

チ 主ポンプ及び各配管内等の残水処理ができるようドレンバルブを設け、排水パイプは、車体下部まで伸ばして排水する構造とし、雪塊等による破損を防止するため、ガードを取り付けること。

ツ 吸水口は内径 75 mm 以上のボールコック付吸水口（ストレーナ付）をポンプ室両側に各 1 個設けること。左側吸水口は必要時に吸水管を接続可能な構造とし、通常時は鎖付キャップで蓋をすること。もう 1 カ所はポンプ室後部より車両に対し直交して取り付け、75 mm 以上×10m の軽量ソフト吸水管を常時接続すること。またコックの開閉は左右両側から操作可能とし、吸水管の巻取りは手動吸水管巻取り装置（サイドプル装置）を介して左右どちらからも引き出し可能な艀装とすること。なお、吸水管の取り出しが容易に行えるよう吸水管取出口には金属製の三方ローラー及び巻取り装置下部には金属製の補助ローラーを設け、車両に沿って前後へ吸水管を引出しても車体に干渉しない構造とし、装

置の吸管巻取り速度は一定速度のものとする。なお、左右ともバイパス装置を備え、バイパス装置のバルブを全開しても落水しない構造とするとともに揚水確認窓等を設けること。

テ ボールコック付きマルチ65ミリメートルの放水口（スイベル式）を、車体両側ポンプ操作部に各2個設けること。

ト ボールコック付きマルチ65ミリメートルの中継口を、車体両側に各1個設けること。

ナ 車体両側に、積載水吸水コック及び送水コックを設けること。

(3) 自動揚水装置

ア ワンタッチ式のスイッチ操作による自動揚水装置を取り付けること。また、手動式を別回路で設け、真空ポンプクラッチは水圧により自動的に離脱するほか、手動でも離脱できる構造とすること。

イ 自動揚水装置は、真空ポンプの動力伝達、エンジンのスロットルアップ（真空ポンプ適正回転を維持）、水ポンプ本体の真空作成、吸水口からの吸水、真空ポンプ動力伝達解除、給水完了と同時にエンジンのスロットルダウン（アイドリング回転まで下がる）の一連の操作が自動的に行えること。

ウ 揚水装置はオイルを使用しない無給油式とし、構造はロータリー式又はピストン式とすること。

エ 駆動装置は、機能が確実で振動、騒音が少なく円滑な伝達が行えること。

オ 各計器類及び動力伝達は、モニタで確認できる構造とすること。

8 水槽

- (1) ガラス繊維強化プラスチック製、ポリプロピレン製、又はステンレス製とし、600リットル以上の容量を有すること。
- (2) 振動、衝撃等により、損傷、緩み等を生じないように、車体に固定し、水圧に対して変形及び水漏れの無い構造とする。また、内部には防波板を取り付けること。
- (3) 上部に、内部の点検、清掃等ができる大きな密閉式のマンホール蓋（上部突起が出来るだけ少ないもの）及び、オーバーフローパイプ（65ミリメートル以上）を設けること。
- (4) 下部に、ドレーンピット、ドレーンパイプを設け、ドレーンパイプには操作しやすい位置に開閉コックを取り付けること。また、雪塊等による破損を防止するため、ガードを取り付けること。
- (5) 水量計は、水管浮子式及び電子式の2系統とし、ポンプ室左右に取り付けること。水管浮子式は水抜きバルブ及び水管全体が視認可能な照明を取り付け、電子式は多目液晶モニタに表示させること。
- (6) 水槽への送水は、ポンプ室左右の吸水口のほか、自己ポンプより直接給水が可能な構造とし、ポンプへの吸水口及び排水口を設け、配管には緩衝装置を施すこと。（詳細は別途協議）
- (7) 車体両側にタンク積載口（65ミリメートルマルチ式メス金具ストレーナー付き）を設け、差し込み式キャップを取り付けること。（詳細は別途協議）
- (8) 水が満載及び空の状態において、走行時の車両の安全性を確保できるものであること。

- (9) タンク吸水コックは電動開閉又は逆流防止弁付とすること。また、手動で操作もできるタンク吸水コックを取り付けること。(詳細は別途協議)

9 塗装等

- (1) 車体(シャッター含む)は、消防色(朱色)とし、塗料は揮発性有機溶剤削減、環境負荷物質(鉛など)を一切含んでいない環境に考慮した塗料を使用すること。
- (2) 車体は十分に錆落としの上、プライマー、パテ、水研ぎ、サフェーサにより下地処理を行ない、熱風乾燥炉にて十分乾燥させ、消防色ウレタン塗装を3回以上行ない、十分乾燥させること。
- (3) ステンレス板及びメッキ加工以外の部分は全て塗装し、金属露出部分がないようにすること。(タイヤホイールは除く)
- (4) ステップ及び車体上部等のアルミ縞板はアルミ地色(塗装なし)とする。
- (5) ポンプ室及びボックス内等はシルバー塗装とする。
- (6) 車体下回り、フェンダー内を黒色とし、ノックスドール750(浸透性防錆剤又は同等品)を塗布後、ノックスドールUM-1600(又は同等品)でアンダーコート処理を施すこと。(詳細は別途協議)
- (7) 保証期間内に塗装及びメッキ部分に変色、亀裂、剥離及び浮き上がり等が生じた場合は、再塗装、再メッキ等を施すこととする。

10 文字の記入等

- (1) キャブ両側に丸ゴシック体の白文字(反射)130ミリメートル角の大きさで、左右とも向かって左から横書き2段で上段に「見附市消防本部」、下段に「Mitsuke City Fire Dept.」と記入すること。(詳細は別途協議)
- (2) キャブ両側下部に丸ゴシック体の白文字(反射)で、左右とも向かって左から横書きで「見附P1」と記入すること。(詳細は別途協議)
- (3) キャブ上部に丸ゴシック体の白文字で、対空表示用に「見附」「P1」と横書き二段で記入すること。(詳細は別途協議)
- (4) 上部アルミ製資機材収納ボックスに、丸ゴシック体の黒文字で、対空表示用に「新潟県」と縦書きで記入すること。(詳細は別途協議)
- (5) 車両前後に丸ゴシック体の白文字90ミリメートル角の大きさで、前後とも向かって左から横書きで「見附P1」と記入すること。(詳細は別途協議)
- (6) 標識灯に丸ゴシック体の黒文字で「見附市」と記入すること。
- (7) 車体両側シャッター及び後部シャッターに、丸ゴシック体の白文字(反射)で、左右とも向かって左から横書き2段で、上段に「N I I G A T A」下段に「M I T S U K E F I R E D E P T.」と記入すること。(詳細は別途協議)
- (8) 車体後部シャッターに、丸ゴシック体の白文字(反射)で、左から横書き3段で上段に「N I I G A T A」、中段に「M I T S U K E」、下段に「F I R E D E P T.」と記入すること。(詳細は別途協議)
- (9) 各スイッチ類には、表示プレートを取り付けること。
- (10) 各計器類、資機材等には、ネームプレートの取り付けまたは書き込みをすること。
- (11) バルブ、コック類には、各称及び開閉方向を表示すること。

- (12) 詳細な文字の大きさ、配置、シャッターデザイン等については、十分協議すること。
- (13) キャブの両側面及び車体の両側面並びに後面に、夜間や薄暮時などでも高い視認性を有する再帰性に富んだ反射材を設置すること。その際、設置場所や反射材の材質等について、事前に見附市の承認を受けること。

別表 1 取り付け品及び取り付け装置

番号	品名	数量	仕様等	取り付け位置等
1	エンジン回転計	一個		シャシ
2	エンジン油温計	一個		シャシ
3	後退警報器	一式	ON・OFF 切り替えスイッチ式	
4	キャブチルト装置	一式	電動式	
5	フルパワー P T O	一式		シャシ
6	マグネット式オイルパンヒーター	一式	防水型 10 メートルコード付き	
7	電子ガバナー	一式		シャシ
8	A B S 装置	一式		シャシ
9	全席集中ドアロック	一式		前後席
1 0	全扉パワーウインド	一式		前後席
1 1	フォグランプ	一式	純正品	シャシ
1 2	デイスチャージヘッドランプ	一式	純正品	シャシ
1 3	エアコン（冷暖房）	一式	リア空調吹き出し口含む	シャシ
1 4	電動パワーミラー	一式		シャシ左側
1 5	室内蛍光灯	一式	L E D	
1 6	カーラジオ（AM・FM）	一式	1 8 に搭載の場合は除く	
1 7	バックアイカメラ	一式	ドライブレコーダーモニタ連動 8 インチ以上液晶モニタ/エンジン ON・OFF 連動・常時監視	
1 8	カーナビゲーションシステム	一式	国産メーカー	
1 9	ドライブレコーダー	一式	国産メーカー・バックアイカメラ連動モニタ内蔵・FullHD 常時録画 64G メモリー付き	
2 0	コーナーセンサー	一式		車両後部上下 4 ヶ所
2 1	サンバイザー	一式	大型アクリル製	前席
2 2	サイドバイザー	一式	大型アクリル製	前後席
2 3	メッキフロントグリル	一式	ワイド用	フロント部分
2 4	ドアリフテクター	一式	赤反射シート	シャシドア 4 枚
2 5	泥よけ	一式	ゴム製	全輪
2 6	フロアマット	一式	ゴム製	前後席
2 7	ナンバー枠	一式	ステンレス製（車両前後）	
2 8	超防汚シートカバー	一式	座席予備 1 枚含む	全席
2 9	ポンプ圧力計	2 個	液晶モニタ内蔵	左右ポンプ 操作部
3 0	ポンプ連成計	2 個	液晶モニタ内蔵	左右ポンプ 操作部
3 1	ポンプ回転計	2 個	液晶モニタ内蔵	左右ポンプ 操作部

3 2	流量計	4 個	液晶モニタ内臓	左右ポンプ 操作部
3 3	積算流量計	2 個	液晶モニタ内臓	左右ポンプ 操作部
3 4	高輝度赤色警光灯	一式	キャブ 一体型 (LED・スピーカー・ モーターサイレン内臓)	ハイルーフに含む
3 5	補助赤色点滅灯	4 個	ウイレン TLMICR24	フロントグリル内
3 6	補助赤色点滅灯	4 個	ウイレン M6FCRD	車体両側 立ち上げ面左右
3 7	補助赤色点滅灯	2 個	ウイレン M6FCRD プロテクター付き	車体後部面 上部左右
3 8	補助赤色点滅灯	2 個	ウイレン VTXFCR (24)	フロントバンパー 左右
3 9	点滅ユニット	一式		
4 0	作業灯	4 個	ウイレン M6ZC (24)	車体両側 立ち上げ面左右
4 1	作業灯	2 個	ウイレン M6ZC (24) プロテクター付き	車体後部面 上部左右
4 2	作業灯	2 個	LED 灯 (幅等は別途協議)	ボディ左右
4 3	照明灯	1 個	(株)佐藤工業所フラッシュボイ SP-Q28 フラッシュボイポール付 (詳細な位置等は別途協議)	車体右側
4 4	電子サイレンアンプ	一式	(株)大阪サイレン TSK-D152 (詳細な位置等は別途協議)	キャブ内
4 5	車両状態警告表示モニタ	一式	車両の状態を確認できるモ ニター	キャブ内
4 6	10 連スイッチ	一式	(株)大阪サイレン SBW-D1 リレー付き (詳細な位置等は別途協議)	キャブ内
4 7	不凍液注入装置	1 個	カプラー一式 (吸水管、止水弁)	
4 8	車載無線機	一式	旧車両より載せ替え	
4 9	A V M 装置	一式	旧車両より載せ替え	
5 0	消防章	1 個	150 ミリメートル・クロームメッキ	フロント部
5 1	昇降用はしご	一式	アルミ製展開式	車体後部右側
5 2	キャブ内前席センター コンソール	1 個	詳細は別途協議	
5 3	地図等収納ボックス	1 個	A 3 サイズ	後席握り棒付近
5 4	バッテリー引き出し装置	一式	ボックスタイプ (保護カバー)	キャブ下
5 5	アルミシャッター	必要 枚数	車体と同色塗装 アルミ合金製バーハンドル式	車体左右 車体後部 1 枚
5 6	エンジン点検灯	一式		キャブ下
5 7	路肩灯	2 個	LED	左右後輪付近

5 8	ポンプ操作部 各ボックス灯	協議	LED	別途協議
5 9	フレキシブルマップ ランプ	1 個	LED	助手席
6 0	空気呼吸器取り付け装置	3 基	後部席 3 基 (マジックテー プ) (配置等別途協議)	キャブ
6 1	後席握り棒	一式	ステンレス製 S 字フック付き (別途協議)	キャブ
6 2	前席・後席仕切り板	一式	ステンレス製パウチ式 (別途協議)	
6 3	携帯拡声器 (取り付け装置付き)	1 個	レイニーメガホン Plus レッド	キャブ
6 4	車体上部収納ボックス	一式	アルミ製 (寸法等別途協議)	車体上部
6 5	はしご手動昇降装置	一式		車体上部
6 6	ホースカー昇降装置	一式	油圧式	車両後部
6 7	フロントバンパー 100mm 前出し 上部縞板張り	一式	HDFWS-REX-310115	フロントバンパー

※ 取り付け品及び取り付け装置においては、すべて同等品以上とするが、事前に消防本部担当者に性能資料等を提出し、承認を得ること。

別表 2 積載品及び付属品

番号	品名	数量	仕様等	取り付け位置等
1	吸水管	1 本	75 mm×10m (サイドプル方式)	車体内部
2	延長用吸管	4 本	75 mm×2.3m	車両上部
3	吸水管ストレーナー	2 個	プラスチック製	積載
4	吸水管ストカゴ	2 個	(株)岩崎製作所 16SKGF3P (フック付ロープ)	積載
5	消火栓金具	2 個	YONE(株)PR-75 マジックバント付き	積載
6	中継口ストレーナー	2 個	プラスチック製	積載
7	管鎗 (ノズル付き)	2 本	YONE(株)e-ノズルフォルダー 無反動管鎗型 PEH-65K (タブコンマーク II 付き)	ホースカー (別途協議)
8	トリガー方式ノズル トリグリップノズル	2 本	YONE(株) G フォース・トリガー NV-50GST (50A 接続)	積載
9	放口媒介金具	4 個	スイベル 65・50 マルチ	積載
1 0	水槽補給キャップ	2 個	65 ミリメートルオス鎖付き	付属
1 1	とび口	2 本	長さ 1,800 ミリメートル 柄材質はグラスファイバー	積載
1 2	金てこ	1 本	長さ 1,200 ミリメートル	積載

1 3	バール	1 本	長さ 900 ミリメートル	積載
1 4	ポンプ工具	一式		積載
1 5	消火器	1 本	自動車用 ABC 粉末 2 0 型 固定金具付き	積載
1 6	二又分岐管	2 個	東京サイレン (株) スイベル型 V-2 分水器 TS-3040 スイベル型	積載
1 7	ポーダブル電源 (蓄電池)	1 基	DELTA MAX2000	付属
1 8	ソーラーパネル	1 基	DELTA	付属
1 9	投光器	1 基	(株)モリタ Nomad360	積載 (取り付け位置 等は別途協議)
2 0	鉄線カッター	1 丁	絶縁ボルトクリップ ZBC	積載
2 1	ツルハシ	1 個	長さ 900 ミリメートル 柄材質はグラスファイバー	積載
2 2	三連梯子	1 基	関東梯子(株)KHFL-SIW87	積載
2 3	一連梯子	1 基	関東梯子(株)KHFL-CT31	積載
2 4	ホースバッグ	3 個	FS JAPAN ホースバック OFD (1 個) ホースバック II W50-65 (2 個)	付属
2 5	ディスクストレナー	1 個	日本機械工業(株)D75S 自在型 (ゴミ取りネット 5 枚付き)	積載
2 6	電動アシスト付消防用 ホースカー	1 台	東京サイレン (株) 非常用型 (加納式) TS-R120 (バッテリー充電器付)	車両後部 (取り付け位置 等は別途協議)
2 7	媒介金具	1 個	同径 65 差込メス差込メス	ホースカー
		1 個	同径 65 差込メス差込メス	ホースカー
		1 個	同径 50 差込メス差込メス	積載
		1 個	異径 65 差込メス 50 差込メス	積載
2 8	エクステンション型 アプリケーションター	1 本	東京サイレン (株) TS-4012	積載
2 9	ストップバルブ	2 個	YONE 製 BO-50	付属
3 0	泡消火薬剤・放水器	1 個	YONE 製 プロパック	積載
3 1	ハリガンツール	1 式	ライトレスキュー ・ハリガン 30 ・アックス ・マリードストラップ	積載

※ 積載品及び付属品においては、すべて同等品以上とするが、事前に消防本部担当者
者に性能資料等を提出し、承認を得ること。

別表 3 車両備品

番号	品名	数量	仕様等	積載別
1	自動車工具	一式	標準付属品	積載
2	車両キー	3 個	標準品	付属
3	フロアマット	一式	標準付属品	積載
4	車輪止め	2 個	ゴム製（中型車両）	車体右
5	非常信号用具	1 本	標準付属品（発煙筒）	積載
6	三角停止表示板	1 個		積載
7	スタッドレスタイヤ	一式	ホイール付き	付属
8	牽引フック	一式	標準品	車体前後
9	補修用塗料	一式	消防色（朱色）・シルバー 各 1 リットル	補修用塗料

※ 車両備品においては、すべて同等品以上とするが、事前に消防本部担当者に性能資料等を提出し、承認を得ること。

別表 4 旧車両から載せ替え品

番号	品名	数量	仕様等	積載別
1	吸水管枕木	2 個	ゴム製ワンタッチ式	積載（載せ替え）
2	中継口媒介金具	2 個		積載（載せ替え）
3	地下式消火栓開閉金具	1 本	YONE(株)FH パール	積載（載せ替え）
4	地上式消火栓開閉金具	2 本	ゴムライニング	積載（載せ替え）
5	フック式マンホールキー	2 本		積載（載せ替え）
6	マンホールキー	2 本		積載（載せ替え）
7	消火栓専用開閉器	1 本	消火栓蓋開閉用 T 型	積載（載せ替え）
8	スタンドパイプ	1 本	YONE（株）PS-65	積載（載せ替え）
9	吸水管スパナー	2 本	スロッター式	積載（載せ替え）
10	クアドラフォグノズル	2 本	YONE(株)NH-40QF	積載（載せ替え）
11	剣先スコップ	1 丁		積載（載せ替え）
12	角スコップ	1 丁		積載（載せ替え）
13	ホースブリッジ	2 個	(株)大阪サイレン コンパクトブリッジ CB450	積載（載せ替え）
14	LED 合図灯	2 本	JAZ-V60	積載（載せ替え）
15	漏水バンド	5 枚	帝国繊維(株) ホースバンテージ HB-100	積載（載せ替え）
16	伸縮コーン	2 個		積載（載せ替え）

1 7	媒介金具	1 個	同径 65 差込メス差込メス	積載（載せ替え）
		1 個	同径 65 差込オス差込オス	積載（載せ替え）
		1 個	同径 50 差込メス差込メス	積載（載せ替え）
		1 個	異径 65 差込メス 50 差込オス	積載（載せ替え）
		1 個	異径 65 差込オス 50 差込メス	積載（載せ替え）

※ 載せ替え積載品は、旧車両に積載していた装備品を新規車両へ載せ替えるもの。
積載場所については、別途協議とする。